

〔12月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

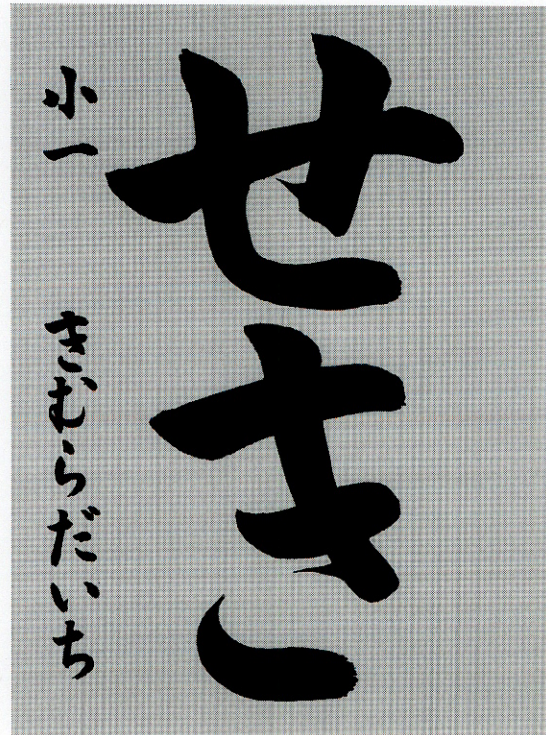
※12月8日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と
同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学2年参考手本

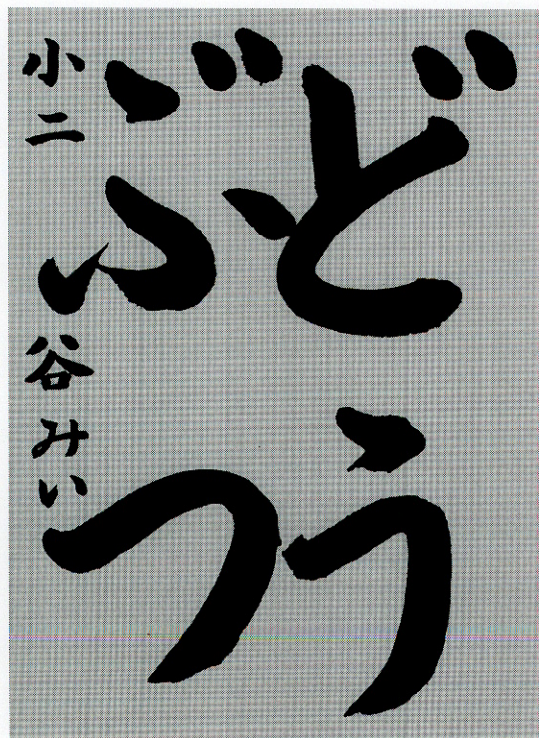
幼・小学1年参考手本



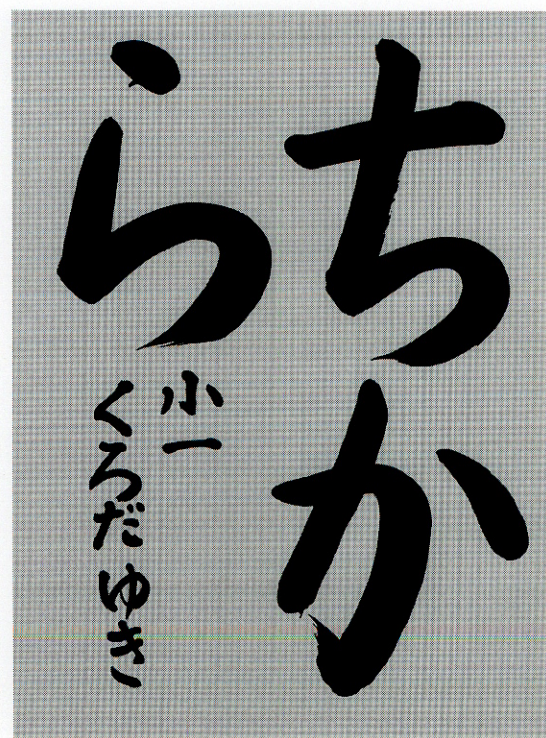
市川蘭華先生



名越蒼竹先生



嵯峨大拙先生



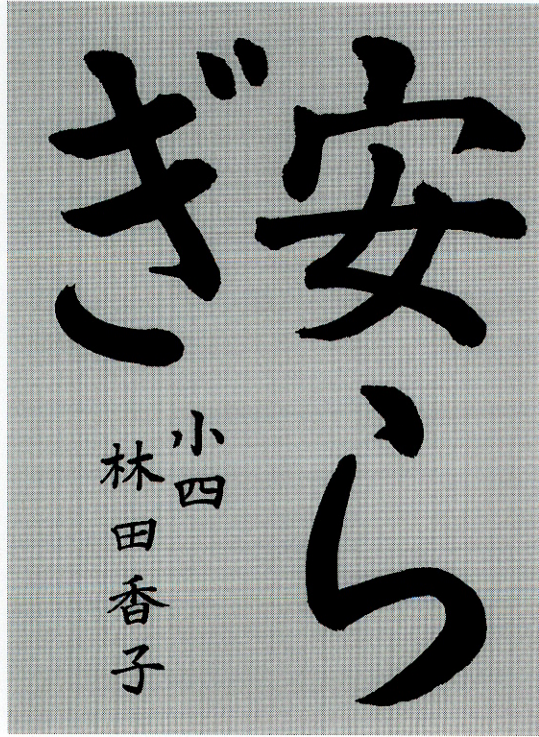
佐藤幽香先生

〔12月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

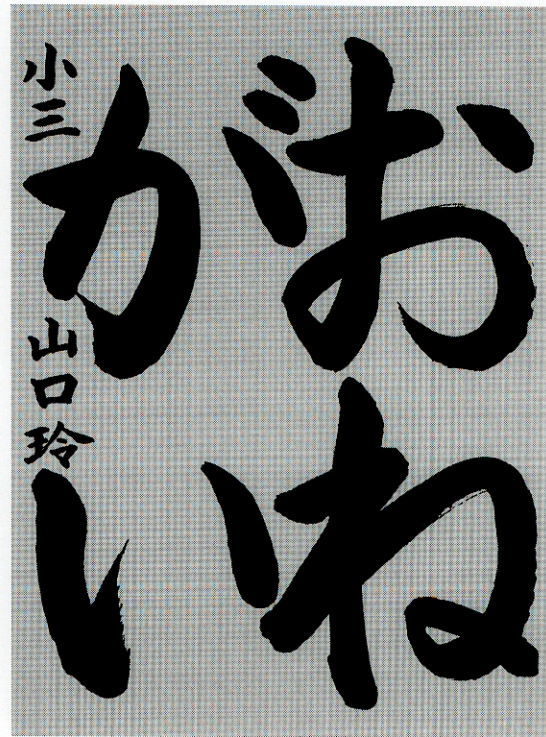
※12月8日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と
同送されますので、その券を貼って出品してください。(硬筆も同じ)

小学4年参考手本

小学3年参考手本



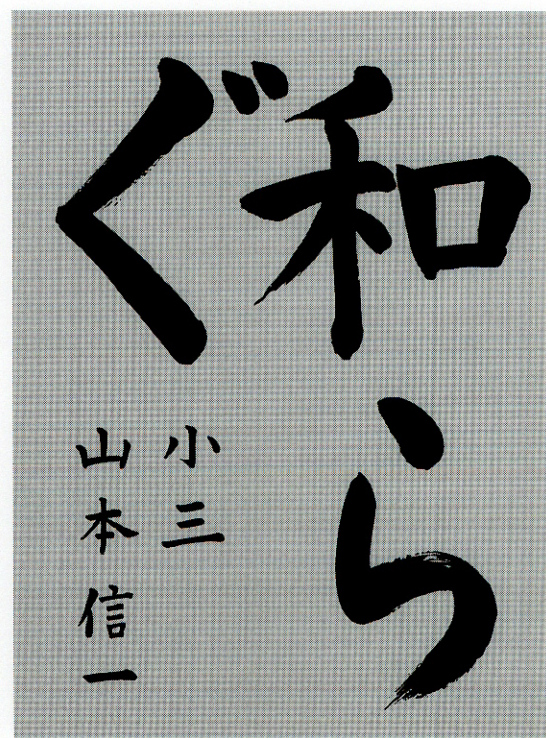
石井明子先生



北村白琉先生



小林琴水先生



広瀬舟雲先生

〔12月 8 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

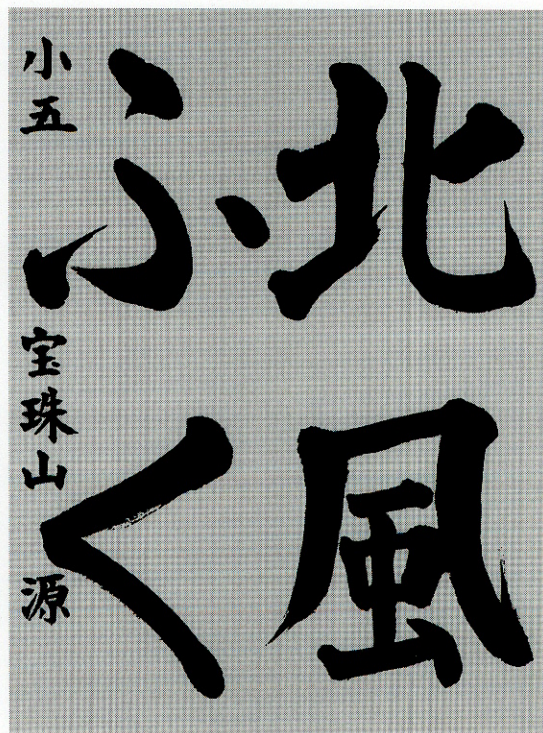
※12月 8 日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1 月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（硬筆も同じ）

小学 6 年 参考 手 本

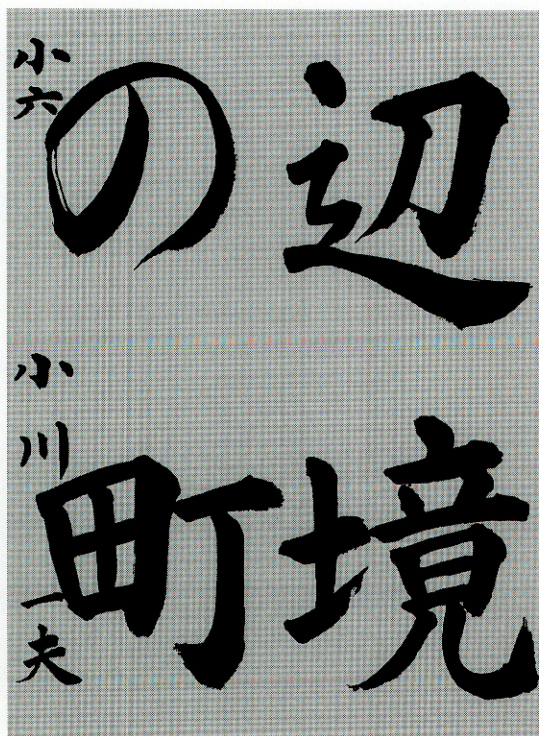
小学 5 年 参考 手 本



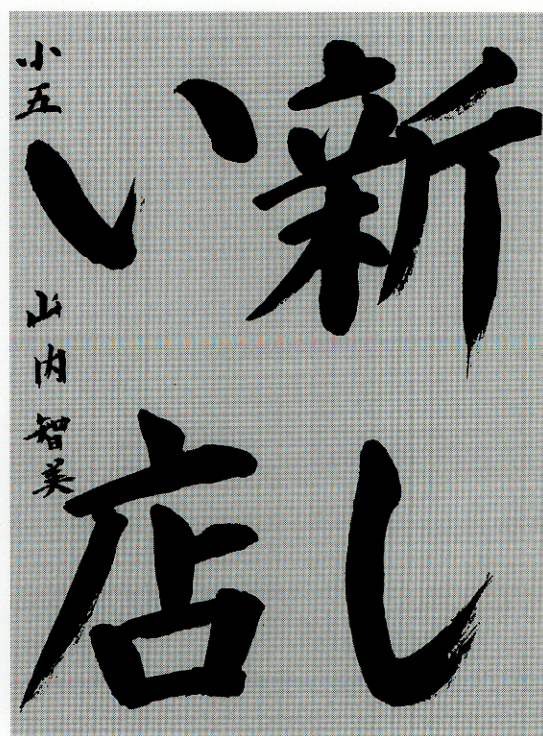
種 谷 萬 城 先 生



半 田 藤 扇 先 生



辻 元 大 雲 先 生

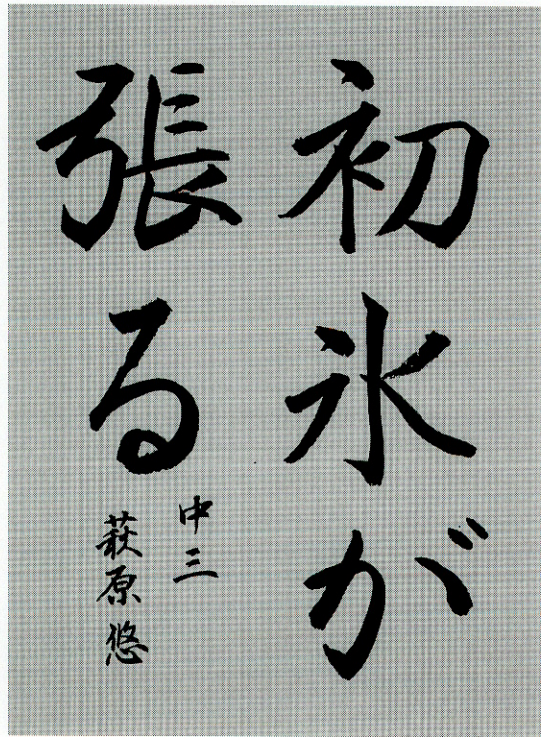


尾 形 鼎 山 先 生

〔12月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

※12月8日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（硬筆も同じ）

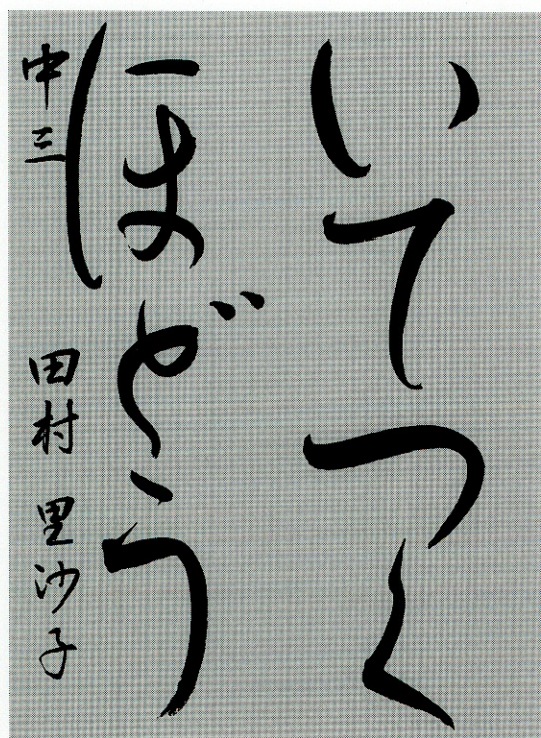
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



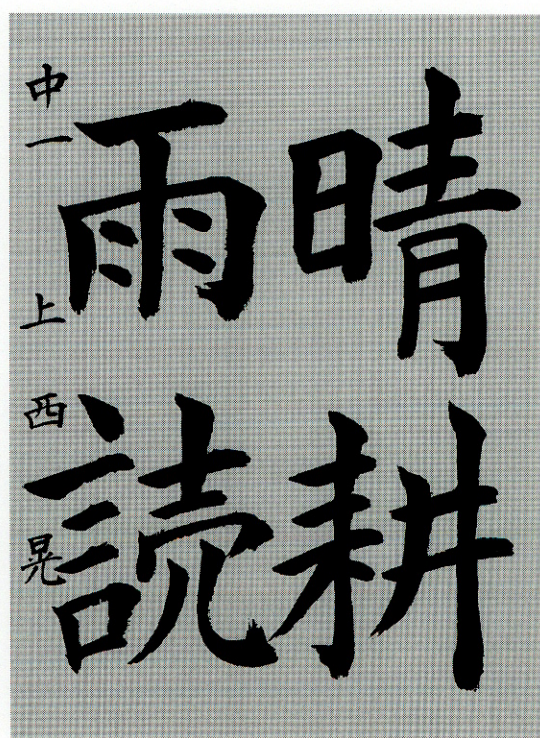
恩 地 春 洋 先生



西 林 乗 宣 先生



下 谷 洋 子 先生



小 伏 小 扇 先生

〔12月 8 日締切課題〕

幼・小学 1 年

支 部 名						
だん・きゅう						
がくねん						
一						
な ま え						
うちだ なつみ						

もとにかえすようにせまく

とめて

わ おわ
「とめ」 大きく「はらう」

ちゅうしん
中心
すこしそる
「はね」のほうこう

『手』
かたちをよくみて、
ていねいにかきましよう。

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。
「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましよう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用してよろしい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(二、三、四)と記入。

- ◎作品に、**学年と自分の「氏」「名」**を本人が書く。
- ◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。
- ◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよろしい。
- ◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の段・級位を間違いないようお願いいたします。
- ◎はじめて出品の方は、級位のところに「新」と記入してください。

硬筆參考手本

解説者
恩地春洋先生

〔12月8日締切課題〕 用紙は本連盟指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
※12月8日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

〔12月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小 学 3 年

小 学 2 年

支 部 名									
段 ・ 級									
学 年									
三									
名 前									
西川あみ									

支 部 名									
段 ・ 級									
学 年									
ニ									
名 前									
まきのしんさく									

[illegible]

「通」の字形を正しくかきましょう。

「森」
[もり]

じけい
ただ

いったんとしてらう
え（しんにょう）のかたち
にちゅうい。

おれてはねる

シ（さんずい）のかたち

ひつじゅんへ
十土丰丰丰走

走
ちゅうしん

池
ち

通
と

にのせる

〔12月 8 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小 学 5 年

小 学 4 年

支 部 名			
段 ・ 級			
学 年	五		
名 前	横山 千夏		
	の	百	
	広	貨	茶
	告	店	の
	を	の	間
	開	年	に
	い	末	い
	て	大	る
	い	売	母
	ま	出	は
	す	し	、

支 部 名			
段 ・ 級			
学 年	四		
名 前	矢野 永吉		
	物	葉	
	に	に	作
	注	気	品
	目	を	の
	し	つ	中
	て	け	の
	読	、	大
	ん	登	事
	だ	場	な
	。	人	言

中心
貨
《筆順》
イ 一 化 皆 皆 貨
化十貝（かいへん）

おれ
母
《筆順》
く 口 母 母
「おれ」の方向と接し方に注意

中心
茶
左右のはらいの角度と長さに
気をつけて、つりあいよく

《母》
「貨」や「茶」の左右をつりあいよく、
「母」の折れに注意して書きましょう。

場
土（つちへん）を小さく
ななめ分間の方向をそろえて

登
ル（はつがしら）の《筆順》
フ タ ア ヌ ヌ

中心
事
長く
横画の長さと同間に注意

《登場人物》
中心線や「へんとつくり」「かんむりと
あし」に気をつけて形を整えましょう。

学習指導要領における書写の指導系統

書 写 に 関 す る 事 項	
小一	(ア) 姿勢や用具の持ち方を正しくして書くこと。 (イ) 文字の形に注意して、筆順に従って丁寧に書くこと。 (ウ) 点画の長短、方向などに注意して、文字を正しく書くこと。
小二	(ア) 姿勢や用具の持ち方を正しくして書くこと。 (イ) 文字の形に注意して、筆順に従って丁寧に書くこと。 (ウ) 点画の接し方、交わり方、方向などに注意して文字を正しく書くこと。
小三	(ア) 姿勢や用具の持ち方に注意して、筆順に従って文字を正しくして書くこと。 (イ) 文字の組立方に注意して、文字の形を整えて書くこと。 (ウ) 毛筆を使用して、点画の始筆、送筆(折れ、曲がりなど)、終筆(とめ、はね及びはらい)などの筆使いに注意しながら、文字を丁寧に書くこと。 (エ) 毛筆を使用して、点画の長短、方向などに注意しながら、文字を正しく書くこと。
小四	(ア) 文字の組立方に注意して、文字の形を整えて書くこと。 (イ) 文字の大きさと配列に注意して書きやすくすること。 (ウ) 毛筆を使用して、点画の接し方、交わり方、方向などに注意しながら、文字を正しく書くこと。 (エ) 毛筆を使用して、文字の中心、画と画の間などに注意しながら、文字の形を整えて書くこと。
小五	(ア) 書かれた文字の形、大きさ、配列などのよしあしを見分け、文字を書くときに役立てること。 (イ) 毛筆を使用して、文字の組立方に注意しながら、文字の形を整えて書くこと。 (ウ) 毛筆を使用して、文字の大きさに注意しながら、字配りよく書くこと。
小六	(ア) 文字の形、大きさ、配列などを理解して書くこと。 (イ) 毛筆を使用して、文字の組立方を理解しながら、文字の形を整えて書くこと。 (ウ) 毛筆を使用して、文字の大きさに注意しながら、字配りよく書くこと。
中一	(ア) 字形を整え、文字の大きさ、配列・配置に気を付けて書くこと。 (イ) 漢字の楷書とそれに調和した仮名に注意して書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。
中二	(ア) 字形、文字の大きさ、配列・配置などの適不適を判断して、効果的に書くこと。 (イ) 漢字の楷書や行書とそれらに調和した仮名の書き方を理解して書くこと。
中三	(ア) 目的や必要に応じて適切な形式や文字の書き方を考え、調和よく書くこととともに、書写された文字の形、大きさ、配列・配置の調和などについて理解を深めること。 (イ) 漢字の楷書や行書とそれらに調和した仮名に書き慣れた状態で、読みやすく速く書くこと。

書写指導(小学校編) 全国大学書写書道教育学会編より転載。

この「書写に関する指導」は、重要なことのため、くりかえし掲載いたします。

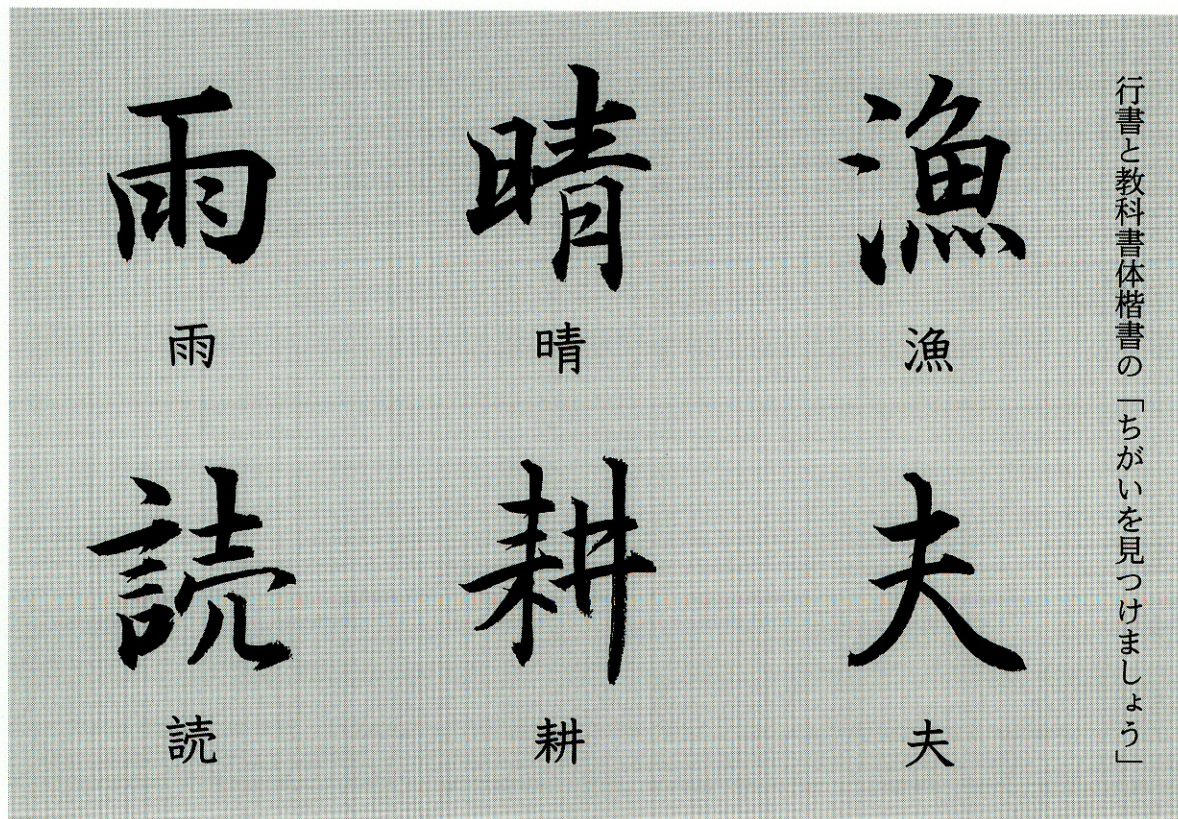
3年	和	ワ オ やわ・らぐ やわ・らげる なご・む なご・やか	一 二 千 禾 禾 和
4年	安	アン やす・い	宀 宀 宀 安 安 安
	国	コク くに	丨 冂 囙 国 国 国
5年	北	ホク きた	一 丨 丩 丩 北 北
	店	テン みせ	宀 宀 广 广 店 店
6年	印	イン しるし	丿 丨 フ E 印 印
	刷	サツ す・る	コ 尸 局 局 刷 刷
	境	キョウ ケイ さかい	十 土 埶 埶 境 境
中学	晴	セイ は・れる は・らす	日 日 日 晴 晴 晴
	耕	コウ たがや・す	三 丰 耒 耒 耕 耕
	初	ショ はじ・め はじ・めて	はっ うい そ・める 、 ㄥ ㄥ ㄥ 初 初
	張	チョウ は・る	コ 弓 弓 弓 張 張 張 張

筆順を学ぼう

139

行書を学ぼう (136)

(中学生の課題より、恩地春洋先生書)



かなの字源を学ぼう (136)

う	ど	ほ	く	っ	て	い	
字	止	保	久	川	天	以	源字
う	と	ほ	く	っ	て	い	字形

※ 字形は、平安時代の書跡から抽出した。
上段には、源字に近い形のものを配し、
下段には、現代の字体に近いものを配した。

書写指導(小学校編)
全国大学書写書道教育学会編より転載

12月8日締めきり

第32回「書の教室」書初め誌上展

——出品規定の要旨——

一、作 品

(1) 紙の大きさ——小画仙全紙1 $\frac{1}{4}$

(たて約70cm×よこ約35cm)

(2) 文 字——課題文字による

(3) 書 体——小学生は楷書

中学生は楷・行書

(4) 名前の書き方——「学年」「氏」「名」を本人が書く。(幼・小一は学年を書かなくてもよい。)

二、出品手続

(1) 出 品 票——所定の様式

(2) 出 品 料——一点 六〇〇円

(3) 締めきり日——20・12・8 必着

(4) 出品目録——所定の様式

(5) 出品点数——一人一点

(個人一点でも出品可能)

(6) 出 品 先——全日本学校書道連盟

〒101-0031 東京都千代田区東神田1-16-7

東神田プラザビル3階

三、審 査

個人賞——大賞、準大賞、新春賞、会長

賞、副会長賞、連盟賞、他

団体賞——優勝、準優勝

四、成績通知 明年1月7日(水)

「書の教室」誌上(3月号)に、上位の方

は写真を、特別賞の方は氏名を発表。

五、作品の返送は無料。

※お問い合わせは、全日本学校書道連盟書初

め誌上展実行委員会へお願いします。

課 題

○幼・小一年生用 「うし」 「こま」

○小学校二年生用 「はる」 「ゆめ」

○小学校三年生用 「正月」 「日光」

○小学校四年生用 「文化」 「平和」

○小学校五年生用 「決心」 「初春」

○小学校六年生用 「白雪」 「新年」

○中学校一年生用 「宇宙」 「松竹」

○中学校二年生用 「初夢」 「紅梅」

○中学校三年生用 「理想」 「恵風」

編集余録

○全日本学校書道連盟は、東京の東神田にありますが、毎日、夕方五時になると、どこからともなく、童謡「夕焼小焼」が流れてきます。歌詞はなく、メロディだけです、この曲を聴くと、ふしぎと気分が落ち着きます。ときどき、心の中でメロディに合わせて歌詞を口ずさんでは童心に返っています。

夕焼小焼で 日が暮れて 山のお寺の鐘がなる お手々つないで 皆かえろ
鳥と一緒に 帰りましょう ♪

○この曲が流れてくると、お母さんたちは、「夕飯のしたくをしなきゃ!」と思うでしょうし、放課後の校庭で元気に遊んでいる子どもたちも、この曲を合図にお腹がグーと鳴り「そろそろお家に帰ろうかなあ」となるんじゃないかと、勝手に想像しています。

○どの街にも、そこで暮らしている人がいて、働いている人がいます。それぞれに時の流れがあります。仕事に追われて必死になってパソコンに向かっているお父さんも、天ぷらを揚げている立ち食いそば屋のおじさんも、額に汗して荷物を運んでいる宅急便のおにいさんも、みんな「夕焼小焼」を聴きながら、心の中でひと息についているような気がします。